

英米を中心とした外国の児童文学—その歴史と概要

川端 有子

日本では翻訳をとおして読まれてきた外国の児童文学の歴史と、ファンタジーやリアリズム、冒険小説などのジャンルの発展について概観し、地域による特色や、時代・文化による変遷の歴史を、著名な作品を取り上げつつ、論じていきます。

1 子どもという概念の誕生とその変遷

2 近代児童文学の誕生 ジョン・ニューベリーの功績

『小さなかわいいポケットブック』(*A little pretty pocket-book*, 1744)

『巨人殺しのジャック』(*History of Jack the giant killer*, 成立年不明)

3 教訓派・宗教的児童文学の興隆

『フェアチャイルド家の子どもたち』(*The history of the Fairchild family*, 1818-1847)

『コマドリ物語』(*The history of the robins*, 1786)

4 ロマン派、アンデルセンとグリムの影響

『グリム童話集』(*Kinder-und Hausmarchen*, 1812-1815)

『アンデルセン童話集』(*Eventyr, fortalte for Børn*, 1835-1837)

『黄金の川の王様』(*The king of the golden river*, 1851)

5 ヴィクトリアン・ファンタジーの誕生

『水の子どもたち』(*The water-babies*, 1863)

『不思議の国のアリス』(*Alice's adventures in Wonderland*, 1865)

『北風のうしろの国』(*At the back of the North Wind*, 1871)

6 家庭小説と学校小説

『宝さがしの子どもたち』(*The story of the treasure seekers*, 1899)

『トム・ブラウンの学校生活』(*Tom Brown's school-days*, 1857)

7 冒険小説の系譜

『ロビンソン・クルーソー』(*The life and adventures of Robinson Crusoe*, 1719)

『ガリバー旅行記』(*Gulliver's travels*, 1726)

『宝島』(*Treasure Island*, 1883)

『ツバメ号とアマゾン号』(*Swallows and Amazons*, 1930)

8 子どもの世界

『楽しいムーミン一家』 (*Trollkarlens hatt*, 1948)

『長靴下のピッピ』 (*Pippi Långstrump*, 1945)

9 広がるファンタジー

『オズの魔法使い』 (*The wonderful wizard of Oz*, 1900)

『メアリー・ポピンズ』 (*Mary Poppins*, 1934)

<ナルニア国>年代記 (*The Chronicles of Narnia*, 1950-1956)

<アースシー>シリーズ (*Earthsea*, 1968-2001)

10 リアリズムの浸透

『タトゥーママ』 (*The illustrated mum*, 1999)

『クレージー・バニラ』 (*Crazy Vanilla*, 1986)

『クララ先生、さようなら』 (*Klaras Kiste*, 2008)

11 多様性の時代

『世界を七で数えたら』 (*Counting by 7s*, 2013)